

資料の破損状況

<破損資料の山>

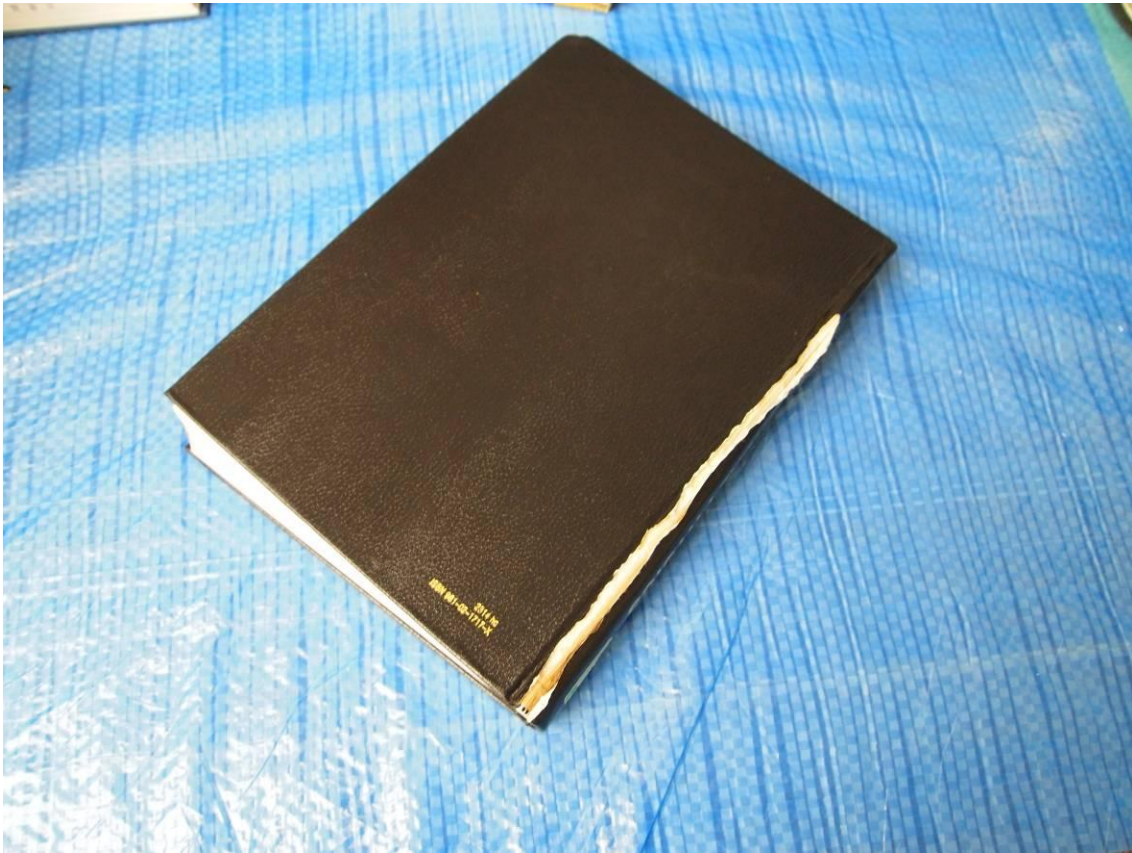
搬出時、およびその後の確認で見つかった破損資料（図書）。

製本雑誌は別途あり。

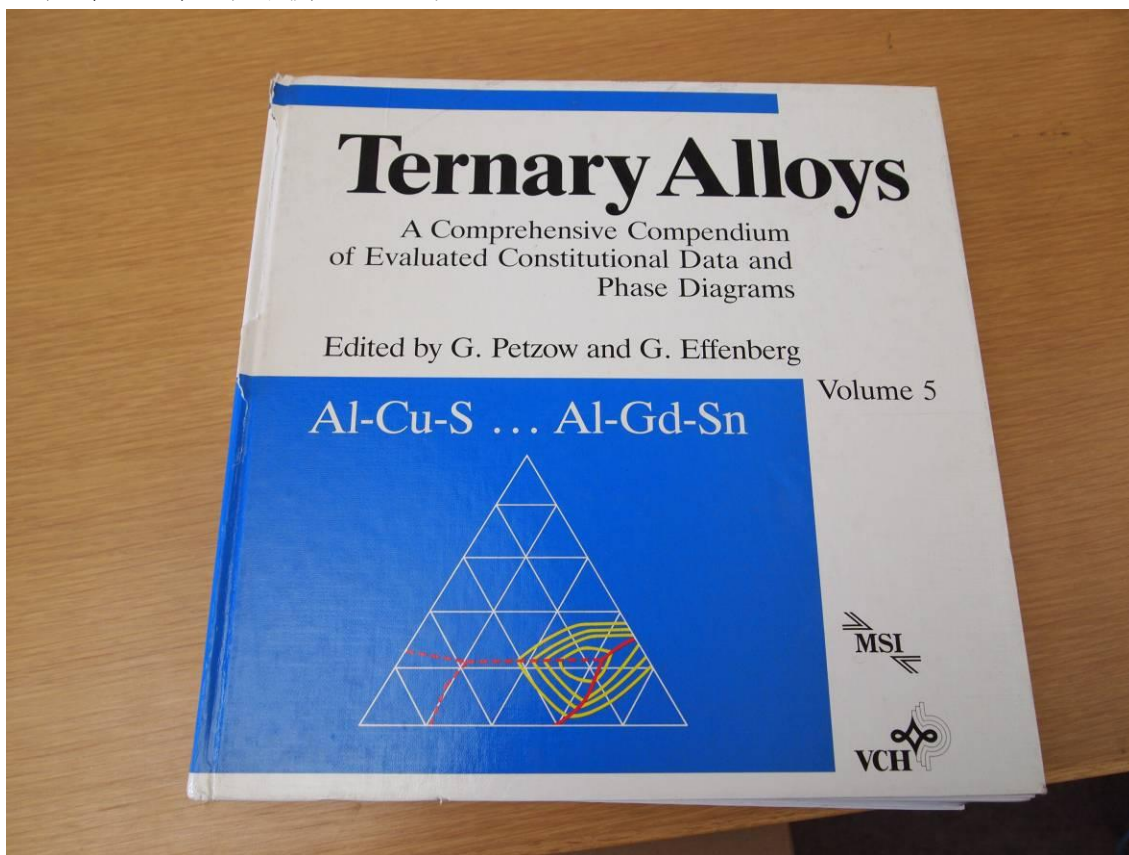
その後の搬入時等で発見されたものもあり。



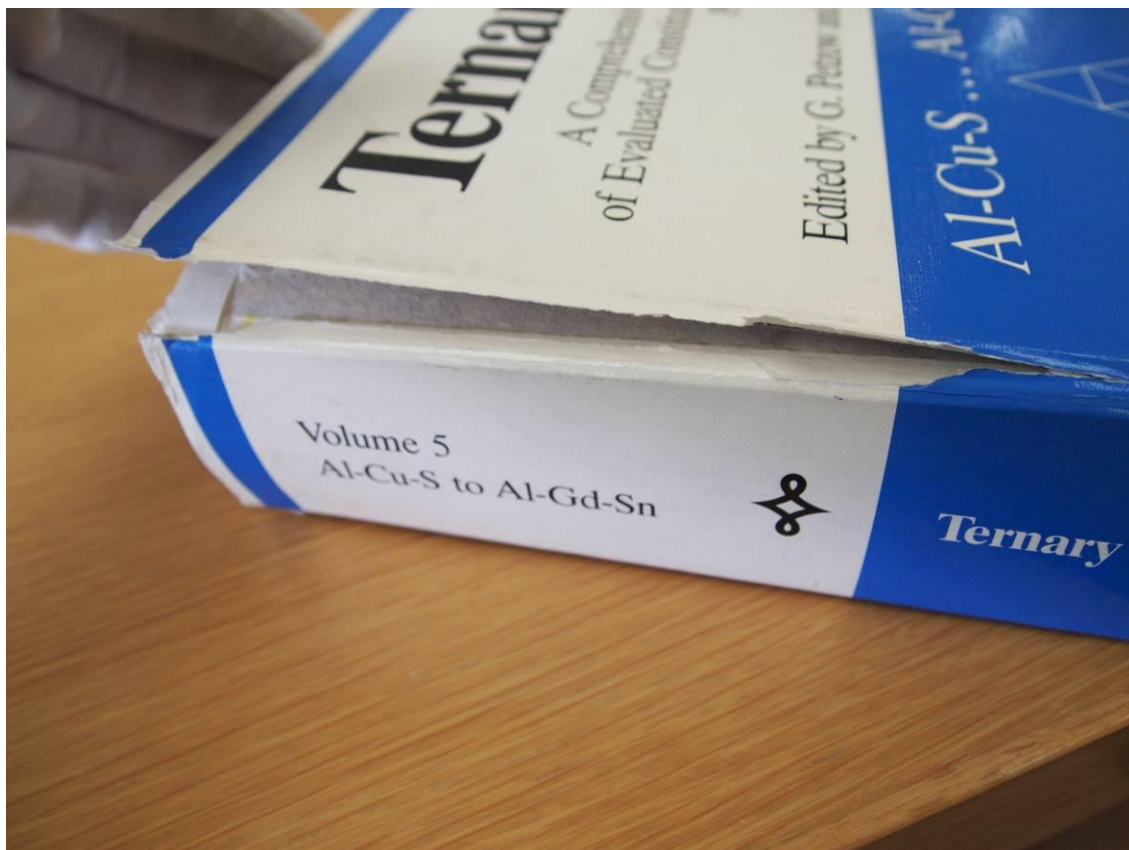
<① 外側 表紙・裏表紙と背表紙の境が裂けている>



水平に置くと、一見破損はないようだが・・・



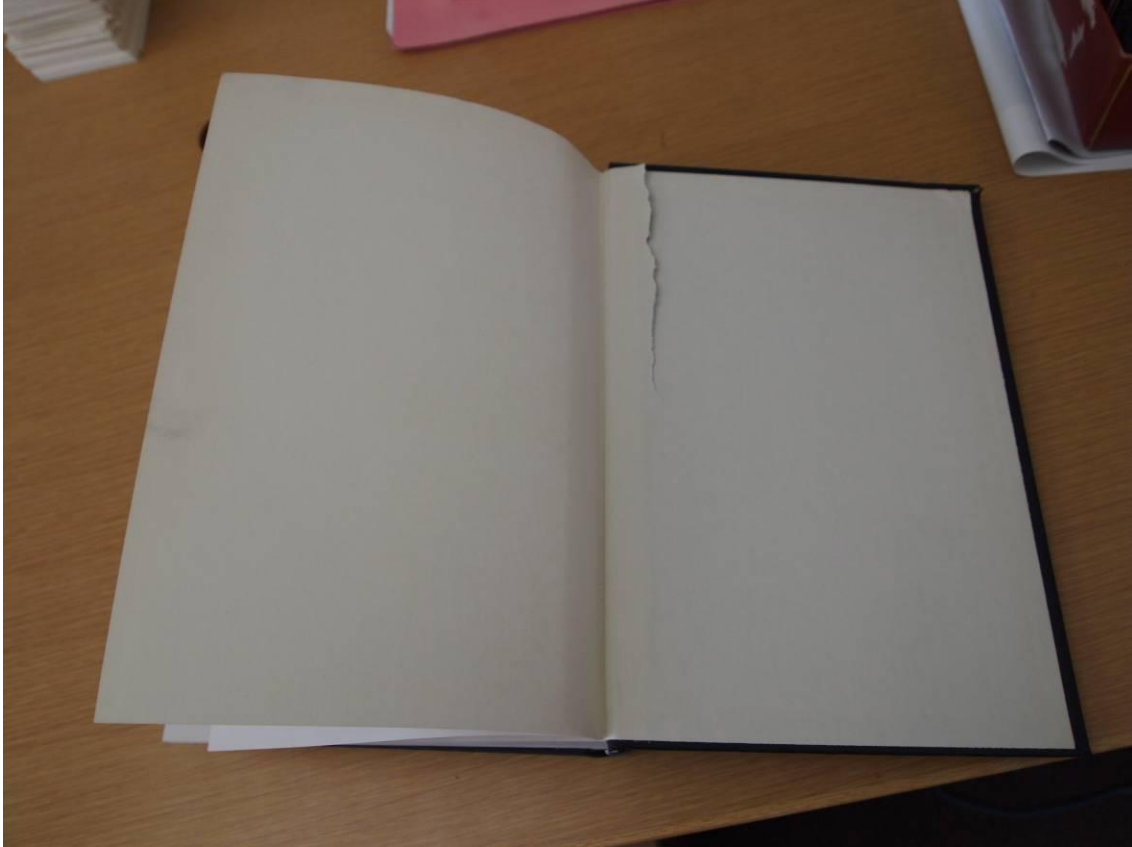
表紙と背表紙の境に亀裂がある。経年劣化では見られない破損状態。



<② 見返し ノド部分の破損>

見返し紙、さらにその内側の寒冷紗と、表紙ボール紙の間に亀裂が入っている。

例1 経年劣化では見られない裂け方。

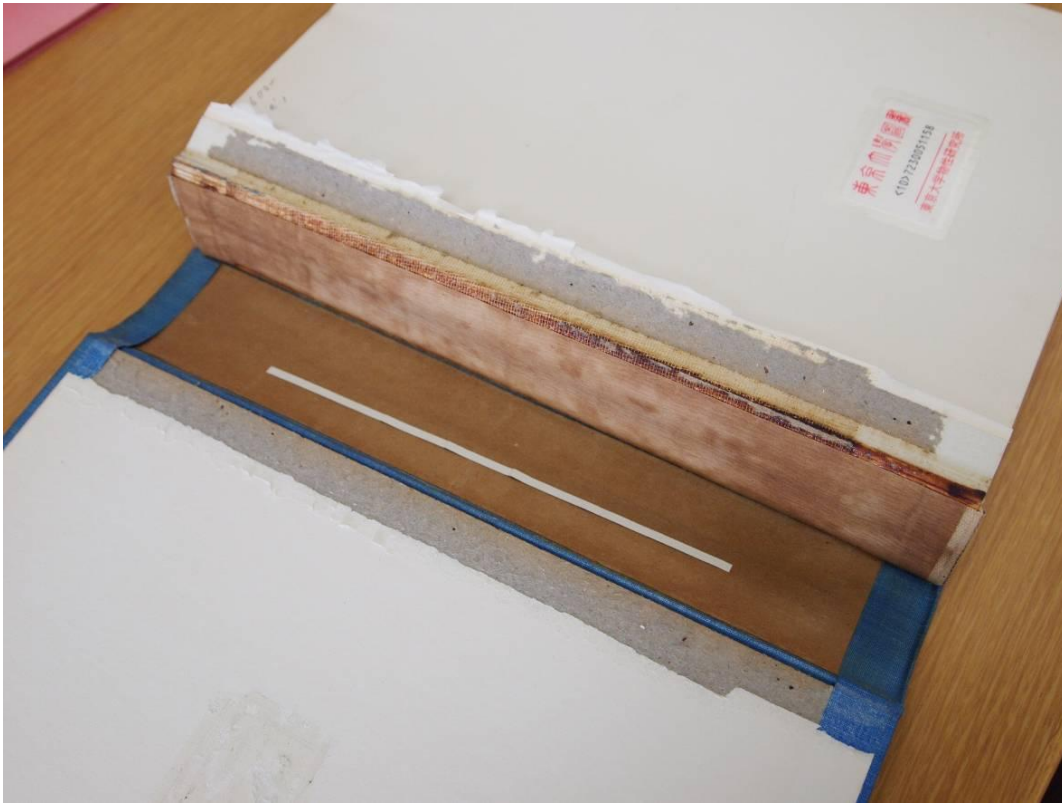


例2 経年劣化でも見られる裂け方。ただし比較的新しく、通常の経年劣化ではまだこのような破損は生じないと思われる本でも発生している。



<③ 本体と表紙が完全に分離>

例1 ②と同じく見返し紙、さらにその内側の寒冷紗と、表紙ボール紙の間に亀裂が入った状態。亀裂が天地に及び、本体（寒冷紗を含む）と表紙が分離した。寒冷紗は本体に付いており、本体の綴じは崩れていない。



例2 経年劣化でも見られる状態。寒冷紗はノド部分で断裂し、本体と表紙それぞれに残っている。
この写真の場合は本体の綴じは崩れていないが、崩れたものもあり。



例3 表紙だけがきれいに外れている。今回の破損では、この壊れ方は稀。



<④ 表紙・背表紙が潰れ、製本クロスが裂けている>

例 背表紙の角が潰れ、クロスが裂けている状態。この他、表紙の角の潰れも多数。また、表紙の天地の真ん中あたりなど、思わぬ部分のクロスが裂けている場合も多い。



<⑤ 表紙ボール紙と見返し紙の糊付部分が剥離>

内側の見返し紙は破れていないが、本体、表紙、見返し紙の間に隙間が出来ている。資料を手にする
と全体的に緩んでいる感じ。隙間は天地には至らず、天側のみ、または地側のみの場合も多い。落下
時の背表紙角への衝撃によるものと思われる。

例1 ⑤と④が合わせて発生したもの



例2 ⑤と②が合わせて発生したもの

